

3. 八潮市の公共施設・インフラについての課題と基本的な方針

八潮市の公共施設の現状、今後の見通しをふまえて、課題と基本的な方針をまとめました。



課題

基本的な方針

公共施設の
建替えが
必要です



1

公共施設の
「量」
を見直す



お金をかけずに
公共施設を
管理しなければ
なりません



2

公共施設の
「質」
を見直す



地域にあった
公共施設を
整備する必要が
あります



3

公共施設を
「長く」
使う



皆さんが求める
公共サービスを
提供する必要があります



4

「余っている」
公共施設を
活かす



生活を支える
インフラを
計画的に更新・
管理しなければ
なりません



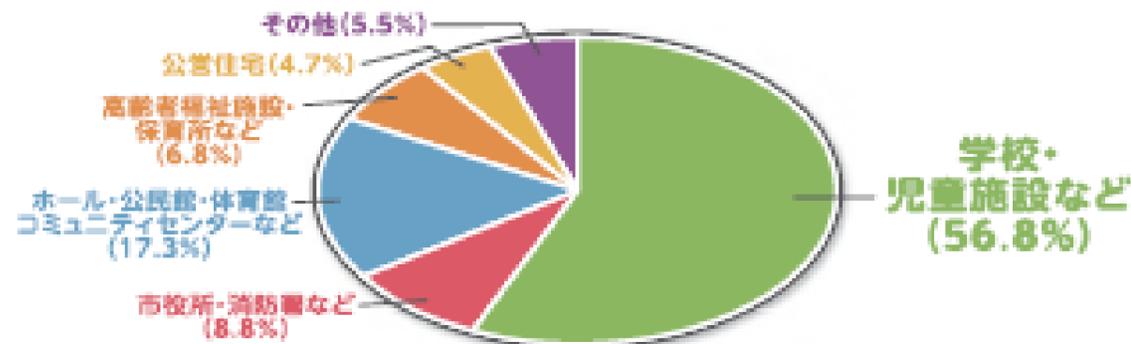
5

確実に着実に
「実行」
する

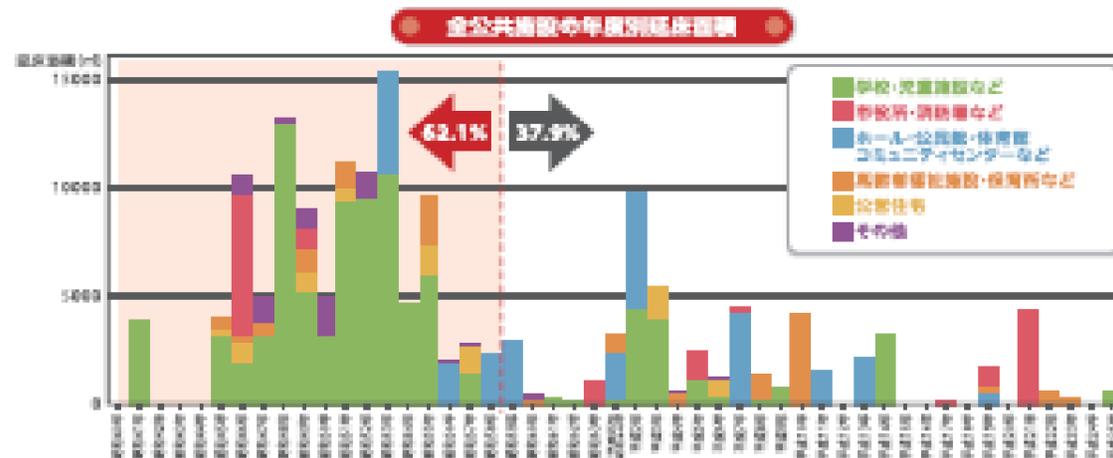


1. 八潮市の公共施設の現状

八潮市の公共施設は145施設、
延床面積は162,765㎡、56.8%が学校、児童施設です。



62.1%が30年以上前の建物です。



市内に立地する145の公共施設のうち、
22施設が耐用年数を過ぎています。

学校	4施設
消防施設	8施設
教職員住宅	2施設
その他行政系施設	1施設
幼児・児童施設	2施設
幼保・こども園	5施設



耐用年数とは？

様々な「モノ」が利用に耐えられる年数を指し、法律で定められています。例えば照明やエアコンなどは15年、鉄筋コンクリートは50年です。

2. 八潮市の公共施設・インフラについての今後の見通し

道路や橋、水道などのインフラも**老朽化しています。**

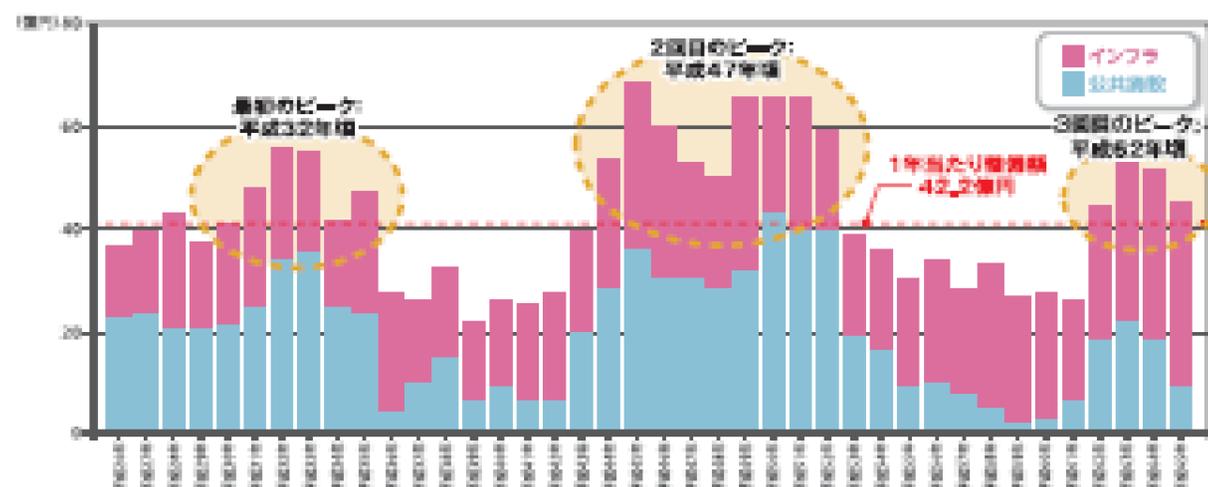
インフラの老朽化状況	排水機場・中継ポンプ場	17のポンプが耐用年数を経過
	屋外ポンプ場	9のポンプが耐用年数を経過
	上水道建物	37の設備が耐用年数を経過
	リサイクルプラザ	大半の設備が耐用年数を経過

インフラの一覧	道路	橋梁	排水機場・中継ポンプ場	屋外ポンプ場	調整池
上水道建物・上水道構築物	リサイクルプラザ	上水道管	下水道管	道路照明灯・道路反射鏡・防災行政無線	公園

インフラとは? インフラストラクチャーの略称で、道路、港湾、河川、鉄道、空港、情報施設、上水道、下水道、公園などが含まれます。

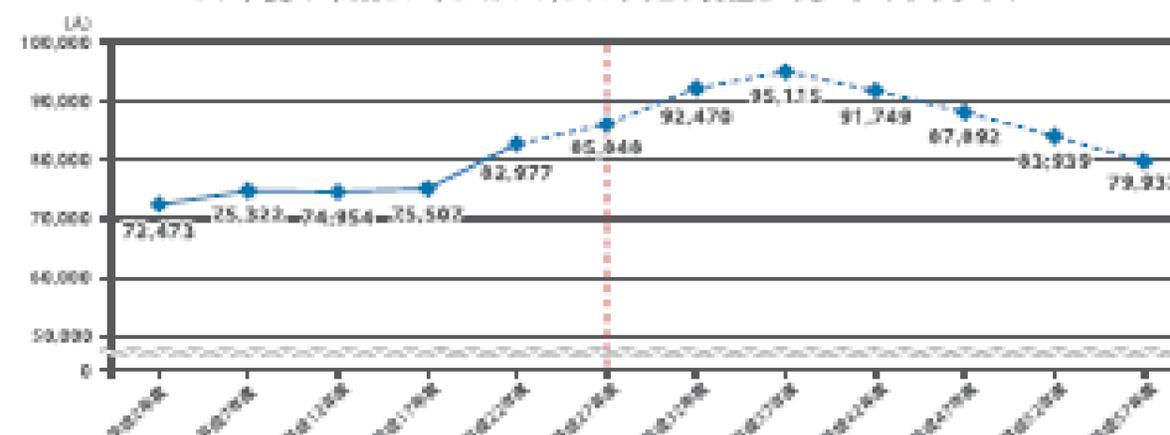
公共施設の建替えや改修には、今後40年間で総額約766.7億円が必要です。
インフラも合わせると1,687.8億円が必要です。

これは**毎年約42億円必要**ということを意味します。



将来は人口減少と高齢化の進展により、**税収増は期待できません。**

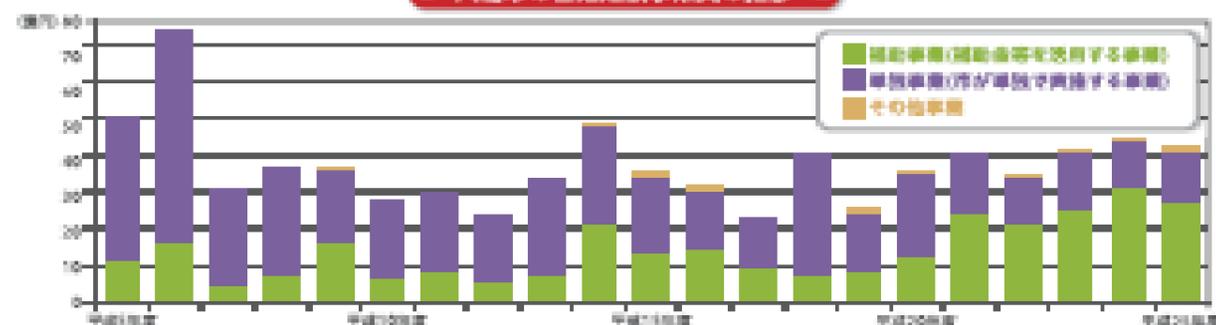
八潮市の総人口は平成37年の95,115人をピークに減少。
30年後の平成57年には79,937人と、現在より少なくなります。



直近20年普通建設事業費は年間約30~40億円前後で推移しており、
今後は公共施設の更新費用だけで年間の普通建設事業費の上限を超えてしまいます。

このままでは、**公共施設及びインフラを適切に更新することが不可能です。**

八潮市の普通建設事業費の推移



普通建設事業費とは? 道路、橋、学校、公園など、私たちの社会や生活を支える施設(社会資本といいます)の整備に必要な費用です。

少子高齢化の流れが続き、

平成47年には**65歳以上人口が3割**を超え、
平成57年には**4割近く**となることが想定されます。

